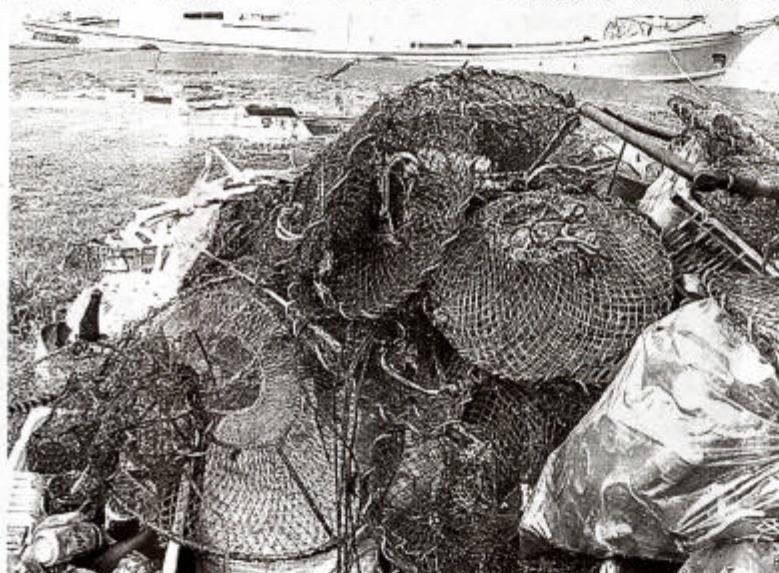


TOWN TOWN

2003年(平成15年)12月25日 木曜日 (2)

幽靈が漁獲といつて
も季節外れの怪談話で
はありません。刺し網
やタコ壺、カニ籠(か
ご)などの漁具は、操
業中のトラブルなどで
ロープが切れたりして
なくなってしまうこと
がよくあります。こう
いう流失漁具に絡まつ
たりして魚やカニが死
んでしまうことを幽靈
漁獲といいます。

たとえば、安いズワ
イガニとしておなじみ
のベニズワイガニをと
るカニ籠は、全国で年
間1万個以上が行方不
明。ベニズワイを籠で
が流失した刺し網



港に捨てられたバイ籠

県の年間タコ漁獲
量よりも多かった
という鹿児島県
の調査結果もあり
ます。日本の漁船

以上入り、閉じこ
められたカニは数
カ月で飢え死にす
るといわれますか
ら、ざつと見積も
って毎年犠牲にな
るカニは1千万匹
以上。

すごい数でしょ
う。タコが入ると
ふたが閉じるねず
み取り式タコ壺に
よる幽靈漁獲が、

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

とる漁法が普及してか
ら30年以上ですから、
日本の周囲には30万個
以上の籠が海底にある
つてことになります。

一つのカニ籠には10匹
網やロープは綿か麻、
40年くらい前まで、
生だつ私は網やロー

プの手入れをさんざん
仕込まれたものです。
その後、安くて丈夫な
上に腐りにくい化学繊

に絡まって、たくさん
のウミガメやアザラシ
が死んでるつて国際問
題になつたことも。
一つの手入れはほとんど
不要になつてしまいま
した。

でも、その腐りにく
さが幽靈漁獲を大問題
にしてしまつたのです。

流失した漁具は腐らな
いので、ホヤやカキな
どの付着生物に覆われ
るか海底の泥に埋もれ
てしまわない限り、ず
つと幽靈漁獲を続ける
のです。

最近、ある程度時間が
がたつと分解する生分解性
プラスチックを使つて、1カ月以上海中
にすると脱出口が開く
カニ籠の開発が富山県
で始まりました。同県
水産試験場にある30
0kgの深海環境を再現
できるご自慢の飼育施設
での実験が注目され
ています。

维やプラスチックが漁業資材として広く使われるようになり、こういう手入れはほとんど